

## 東日本大震災支援のためのタイ医療支援チームの活動

東日本大震災支援のために派遣された小児科医1名、看護師1名から成るタイの医療支援チームは、5月8日（日）に日本に到着し、翌9日（月）から福島県内において巡回医療活動を開始しました。活動初日の5月9日（月）は、午前、福島県立医科大学附属病院において開始式、活動内容の打合わせに参加し、午後から同病院の医師、看護師とともに避難所となっている二本松市にあるJICA研修施設を訪問、感染防御の観点から施設を視察するとともに、避難している子供たちの診療を行いました。

開始式において、村川雅洋福島県立医科大学附属病院長から、同大学が行っている巡回診療にタイの医療支援チームが参加し、ともに活動して頂けることは、大変心強く光栄なことであり、被災者の健康を守るために協力願いたい、また、今回の協力が実り多きものになることを期待するとの発言がありました。これに対し、ナリット・ワラナワット医師は、今回の震災による被害が甚大にもかかわらず被災地の方々が忍耐と秩序を持って行動されていることに、タイを含む世界中の人々が感銘を受けており、日本人に対し敬意を表したい、自分は、かつて日本の大学において研修を受け、そのことによりタイの多くの子供たちを助けることができた、今回は、その時に受けた御恩をお返ししたいと述べました。

本医療支援チームは、5月20日（金）まで福島に滞在し、5月23日（月）からは、第2陣として別のタイ医療支援チームが6月3日（金）まで福島で活動を行う予定です。



（二本松市で活動するタイ医療支援チーム）